

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

THE 市町支援通信



あすなろ学園市町支援グループでは、
「途切れのない支援システム」の構築を共働します

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなろ学園は多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）の設置
- ② 市町の保健・福祉・教育行政と共働した保育所・幼稚園での早期発見・支援
発達チェック（CLM）と個別の指導計画の普及定着 市町の療育システムの構築
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

平成22年度 みえ発達障がい支援システムアドバイザー

9名 新たに 誕生 ～研修者報告会～

あすなろ学園は、アドバイザー研修（あすなろ学園での1年間研修）を終了する8市町9名の研修報告会を、3月16日（水）に開催しました。研修者は、あすなろ学園内での実習、巡回研修、地元市町のアンケート調査等で学んだことや今後の課題、新たな決意を報告しました。

当日は、研修者の出身市町だけでなく、多数の市町から保健・福祉・教育の関係者70名の参加があり、アドバイザー研修や途切れのない支援システムの構築に強い関心を寄せられました。

なお、研修者9名は、22日に三重県より、「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」として認定証を交付されました。これにより、三重県内のアドバイザーは16市町30名となりました。

“三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を”実現するために、あすなろ学園はこれからも、各市町と共に、支援システムの構築を推進していきます。



3月16日（水）

報告会 アンケートより

- ・すばらしかった！！力を合わせて、我が町の子どもたちのためにがんばっていきましょう！（保育士）
- ・今後も続けて研修者を派遣して、より強い支援室ができればと思います。（福祉行政）
- ・研修のハードさがわかりました。すばらしい研修ができ、うらやましいなと思います。（保育士）
- ・地元での活動に期待がふくらみました。大変参考になりました。（教育行政）
- ・あすなろ研修での学びは、大きな土台です。自信を持って市町に戻ってください。（先輩アドバイザー）

☆アンケートのご協力、たくさんのエール、ありがとうございました。

地域での子育て支援

～子育て支援ストレスマネージャー養成講座 開催～

身近な市や町において、発達障がい児の子育てに悩む保護者をサポートできる専門的な人材を配置することは、子育て支援の重要な側面です。

あすなる学園は、NPO法人えじそんくらぶと協働し、三重県独自の「子育て支援ストレスマネージャー」の養成を始めました。

今年度は、木曽岬町、亀山市、志摩市の3市町3名のみえ発達障がい支援システムアドバイザー(あすなる学園での1年間研修の終了者)が受講しました。3名は、「子育て支援ストレスマネージャー」として、22日に県庁講堂にて三重県から認定されました。



高山先生、アドバイザー、参加者の方々

三重県モデルは“画期的” NPO法人えじそんくらぶ 高山恵子 代表

この企画は、NPO法人えじそんくらぶとあすなる学園のコラボレーションによる、日本で初めての支援者養成プログラムです。このプログラムは、参加者のストレスマネジメントと支援者の育成を同時に行います。私(高山)がモデルを示し、アドバイザーが実践し、計9回(3回×3市町)の講座を行いました。このような形で、3名のストレスマネージャーを養成できたのは、1年間あすなる学園でみっちり研修を積み、地元市町で親支援に取り組んでいる力量のあるアドバイザーを対象とし、あすなる学園のバックアップによる人材育成プログラムであったことが奏功したのではないかと思います。

最初は、大変だと思いましたが、自然体で親同士の学び、自己理解を深めることができるグループの場をこれからも提供していただければと思います。

私も全国各地でストレスマネジメント講座を提供していますが、私にとって初めてのプログラムで、ここ三重では大きな学びがありました。東奔西走というか三重県を北奔南走する中、三重の Powerspot でパワーを注入することもできました。また、機会があれば、皆様と一緒にお仕事できればと思います。今後のご活躍を期待します。

*参考資料として使った冊子「ストレスを減らす3つのヒント」はえじそんくらぶのホームページでダウンロード可能です。





市町からのNEWS



“わがまちで 途切れなく”

みえ発達障がい支援システムアドバイザーの活動を報告します。

仕事も余暇も・・・

四日市障害者就業・生活支援センターブラウなどの機関と連携して会社にAさん（支援している方）の特性を理解していただくための橋渡しをしています。

また、会社での勤務以外の余暇の時間の居場所づくりとして、町内のお年寄りの畑仕事のお手伝いを体験してもらったり、利用者が自主的に活動しているサークルなどを紹介して参加してもらったりしています。

今後もAさんの仕事はもちろん余暇も楽しんでいただけるように支援していきたいと思います。

川越町役場福祉課 稲見 由美子

療育教室を開催

3歳児健診後の未就園の子どもさんのスムーズな就園を目指して、保護者の希望に応じ、週1回、1時間、3～4名の療育を行っています。

内容はあすなろ学園の療育を基本にしていますが、一人一人の子どもさんの発達課題に応じたプログラムを作成し、運動・認知・言語各分野に対応した教材を使い、療育を展開しています。療育の中から見えてきた有効な支援方法を保護者にお伝えすると共に、保護者の希望に応じて就園先の幼稚園・保育所に支援方法をお伝えし、その後も引き続き「途切れない支援」をさせて頂いています。

津市子ども総合支援室 鈴木 美保子

“シール評価の効果にびっくり！”

学校へ登校すると、いつも通り過ごせているが、朝 家を出るまでに時間がかかり不登校気味になっていた小学生のAさん。12月中頃家庭訪問をし、Aさんと面談。「7時までには用意ができれば（学校に）行けるんやけど・・・」というAさんの思いを聞くことができました。そこで、何時に起きてどんな流れで登校の準備をしたらよいかを話し合うことにしました。

まずは、“朝起きる時間を決めて、谷さんとシール評価をしましょう”と提案。毎週金曜日の夕方に家庭訪問を繰り返し、シール評価を続けることで、朝起きることを意識するようになり、3学期は遅れる日もあったものの毎日登校することができました。

志摩市 ふくし総合支援室 谷 礼子

チェックリスト(CLM)から個別の指導計画作成へ！

＜事例＞Bくん（5歳児）は、順番を守ることが苦手で、給食のおかずを取りに行くとき、2人目であれば並んで待つことができるが、3、4人並んでいると待つことができず、1番前に割り込んでしまいます。

↓ CLM 4～5歳児用 から

《チェックされた項目》 （16）順番が守れない

《要因や気持ち》*待つことが苦手？ *早く食べたい？ *見通しが持ちにくい？

| 目 標 | 期 間 | 具体的な指導方法 | 月 日 | 結 果 |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|-----|-----|
| 給食の準備でおかずを取りに行くとき、何番目でも並んで待つことができる | 2/24 (2W) ↓ 3/10 計 10回 | <p>〈環境の整え〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 並ぶ位置がわかりやすいように線を引いたり、立ち位置に足型を貼ったりしておく。 <p>〈クラス全体の支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「約束表」と「絵カード」を使って順番に並ぶ方法を視覚的に説明する。 並び方の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 順番が見通しやすいように小グループに分ける。 担任が、良いモデルや悪いモデルを示したりしながら、子どもを巻き込んでロールプレイする。 実際に給食準備で並ぶときも、グループ毎に並ぶよう指示をする。 <p>〈個別の支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 並び方の練習のときBくんのグループは先ず見学にする。 達成できる1番目で並ぶことから始める。できたことをほめながらスモールステップで、2番目、3番目、4番目で待てるように練習を進めていく。 実際の場面で担任はBくんのそばに付き添い、割り込みを防ぐ。 待つことができにくいときは、周りの子どもに協力をしてもらえるよう担任が仲介する。 | | |

インフォメーション

・あすなろ学園ホームページを更新しました。

冊子「おかあさんこうしてみたら」「せんせいこうしてみたら」がダウンロードできるようになりました。イラストをたくさん入れて、説明しています。ぜひ、ご活用ください。

2011年3月22日

＜発行＞三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援グループ
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL：059-234-8700 FAX：059-234-9361
MAIL：asunaro@pref.mie.jp URL：http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/